



知多南部広域環境センター 建設工事だより

(完成イメージ図)

令和2年1月発行 | 第1号 | 知多南部広域環境組合 (構成市町: 半田市、常滑市、南知多町、美浜町、武豊町)

ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

日頃は知多南部広域環境組合の事業にご理解、ご協力賜りありがとうございます。

知多南部広域環境センター建設工事も本着工から5か月あまりが経過いたしました。先月には、工事期間中で最も工事車両の出入りが多い、工場棟地下底盤部分のコンクリート工事を無事に終えることができました。今後は躯体工事を進め、本年10月には工場棟建物の外観が見えていただける予定です。

近隣の皆様及び住民の皆様には、工事に対し少しでもご安心、ご納得をいただけるよう、組合ならびに建設事業者一同心がけて業務にあたってまいりますので、今後ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和2年1月 知多南部広域環境組合

管理者 靱山芳輝

現場の状況

平成30年8月に建設事業者と契約を行って以来、準備工事として、土壌調査及び土壌汚染対策、既設建物及び地中埋設物の撤去工事、掘削工事を行うにあたり土の崩落を防ぐ土留工事などを実施してまいりました。

令和元年8月には本工事に着手し、これまでに建物を支える杭384本の打設工事、深さ10mほどの大きなごみピット部分の掘削工事、現場の方でも「なかなか見る機会がない」と話すほど緻密な配筋工事などを行いました。大規模で非常に頑丈な躯体工事です。

そして、先月12月7日(土)には、コンクリートミキサー車210台分のコンクリートを用い、建物の基礎部分となる耐圧盤工事を行いました。

この先20年を目途に、2市3町住民の皆様のごみを受け入れ、処理し続けられる、丈夫で安全な施設となるよう工事をすすめています。



現場見学会の様子

知多南部広域環境センターの工事の状況等を住民の皆様にご覧いただくため、令和元年11月17日(日)に工事現場の見学会を開催しました。

当日は、日曜日の開催という事もあり小学生を含む23名の方にご参加していただき、参加者からは、多くの質問が寄せられ、活気のある見学会となりました。本当にありがとうございました。

なお、この見学会は工事の進捗状況等にあわせて、随時開催していく予定です。



地下水モニタリング

(令和元年8月採水)

地下水モニタリングについては、平成31年3月公表の土壤汚染等調査結果に基づき、愛知県の指導のもと令和元年5月分から、右表のとおり分析物質及び観測井戸を追加し実施しています。

重金属等

実施の結果、右表のとおりこれまで同様、No.2,5,7,8の4つの観測井戸において、ふっ素及びその化合物の環境基準超過がありました。

ダイオキシン類

敷地内5箇所で実施してきた調査井戸のうち、No.1については工事進捗によりその場所を掘削したため廃止し、新しく観測井戸No.6を設置しました。

実施の結果、以下のとおり環境基準超過はありませんでした。

(単位：pg-TEQ/L)

No.2・・・0.079、No.3・・・0.026

No.4・・・0.10、No.5・・・0.026

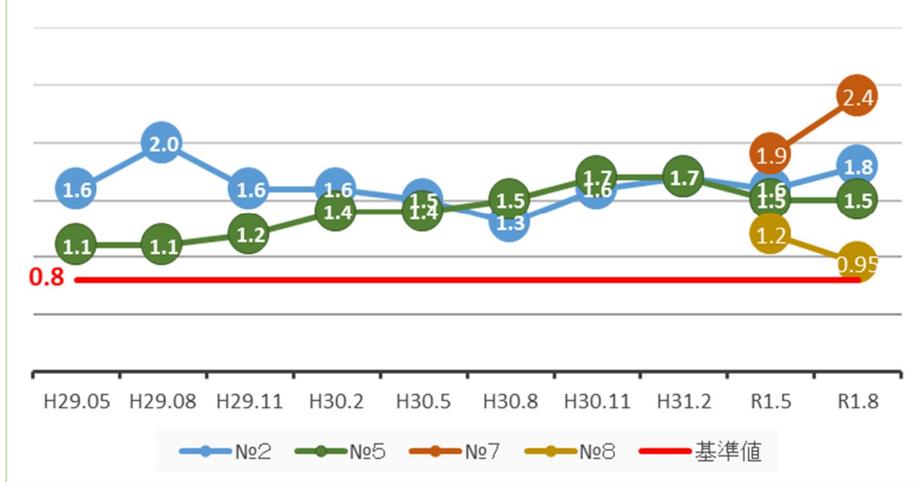
No.6・・・0.098(環境基準・・・1)

(令和元年8月採水結果報告書より)

赤字は基準値超過したことを示す 「-」は測定対象外項目

観測井戸(井戸No.)		No.2	No.5	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	地下水環境基準(mg/L)
地下水位	GL-m	2.17	2.17	1.77	1.73	1.38	1.25	1.23	
	T.P.m	1.72	1.48	1.80	1.94	2.33	2.50	2.42	
分析項目	ふっ素 (mg/L)	1.8	1.5	2.4	0.95	0.20	0.35	-	0.8
	鉛 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	砒素 (mg/L)	<0.005	0.007	<0.005	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	六価クロム (mg/L)	<0.01	<0.01	-	-	-	-	-	0.05
備考	採水日	8/29	8/28	8/28	8/28	8/28	8/28	8/28	

ふっ素及びその化合物(mg/L)の推移



ふっ素及びその化合物について

知多南部広域環境センター建設地において、地下水環境基準を超過しているふっ素及びその化合物について、環境基準0.8mg/Lとはどのような数字でしょう。

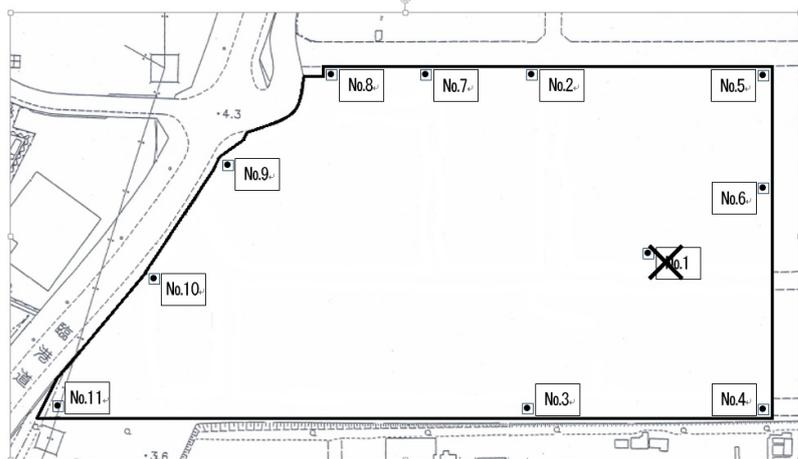
環境省は継続的に飲み水によって体内に取り込むと、0.9～1.2mg/Lの濃度で12～46%の人に軽度の斑状歯が発生することが報告されており、それを超えない0.8mg/Lを基準としています。

斑状歯とは軽度で歯の表面がぼんやりと白く、中度、重症になると着色など審美的に影響がでる歯の石灰化障害です。

愛知県の調査では建設地周辺に飲用井戸はなく、実質的な健康被害は発生しないと判断していますが、今後も数値に大きな変動はないか定期的に調査してまいります。

過去の推移については組合ホームページをご確認ください。

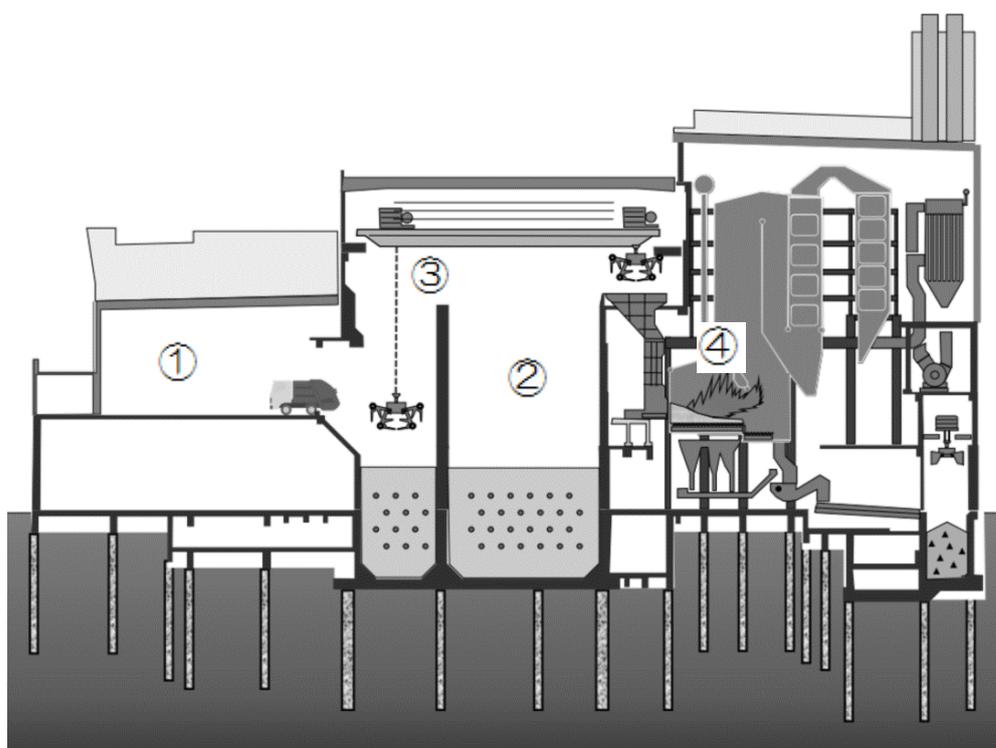
地下水調査観測井戸位置図



今後のスケジュール

年度 月	平成30(2018)				令和元(2019)				令和2(2020)				令和3(2021)				令和4(2022)							
	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~				
施設の建設	本契約				土壌汚染調査				既設倉庫解体				地中埋設物撤去				土留工事							
	設計				敷地造成				土木建築工事				機械設備工事				試運転							
施設の供用																					供用開始			
地下水 モニタリング																					採水:5月、8月、11月、2月			

ごみピット（環境センターに持ち込まれた可燃ごみを貯留する大きなスペース）部分については、先月底盤部分のコンクリート工事が完了していますが、今後も鉄筋、型枠、コンクリート工事を繰り返し、7月頃までには大きなコンクリートの器が完成する予定です。工場棟のその他の部分についても、地下躯体工事完了後、埋め戻し、1階床の工事に入ります。鉄骨工事は6月頃からの予定です。



ごみ焼却施設 構成主要設備 1

プラットフォーム

ごみを運んできたトラックが入る場所。3階です。

ごみピット

持ち込まれた可燃ごみを貯留する大きなスペース。2部屋あります。

ごみクレーン

ピットのごみをつかんで混ぜたり、焼却炉へ運びます。

焼却炉

ごみは850以上の高温で焼却します。

つづきは次号